

落葉高木。ハルニレ（春楡）やアキニレ（秋楡）の仲間の木です。葉っぱが角が生えたような不思議な形は、ウルトラマンの顔や、キツネにも見えてきます。顔の表面は固めの毛が生えていて、触るとザラザラしています。魚のカレイに似た「オヒョウ」という魚がありますが、関係ありません。「オヒョウ」は本種の樹皮を意味するアイヌ語の「オピウ」が由来。寒さに強く、北海道に多い木ですが、全国に自生しており、このあたりの山や園内でも見かける木です。

花は、3-4月ごろ、葉の展開前に先に咲きます。紅色の小さな花の集まりが球状になっています。地味なので、気付かれることがあまりないのですが、よく見ると可愛らしい花です。実は翼果。小さな種のまわりに翼を持ち、6月ごろには熟して風に乗って飛んでいきます。材は、家具や器具材として利用され、アイヌでは強靱な樹皮の繊維を採取して「厚司織（アットウシオリ）」という布を織っていました。

葉っぱには、時々、不思議な形の「虫こぶ」が出来てよく目立ちます。秋には黄色に黄葉して美しく、押し葉にすると色々遊べそうです。オヒョウは、葉っぱがとても気になる木。散策路 A コースや七滝登山道で見られます。



樹皮 4月3日



花 4月19日



若い実 5月28日



新葉 5月15日



虫こぶ 6月18日



黄葉の落ち葉 9月19日

森林ふれあい学習館 6月のギャラリー 展示

2023年6月1日(木)～7月2日(日)

愛しき森たちとつむぐ夢 ～松田迪子展～

八幡平の森を中心とした心象スケッチ

この度、ブナの木を中心としたスケッチと、自然からイメージを得て描いたイメージ画を、展示することになりました。八幡平、八甲田、白神にはブナの美しい原生林が点在しています。いつの日か、このブナ林に魅入られ森の中を歩き、スケッチするようになりました。わたしが森歩きをしながら、森からいただいた喜びを、少しでもわたしの絵を通じて感じて頂けたら嬉しいです。

【松田迪子プロフィール】八戸市出身。幼少期を青森、岩手で過ごす。現在は保育士をしながら、森を歩いたり、野草をとって料理するのが楽しみ。神奈川県在住、八幡平との2拠点生活を継続中。



岩手県森林公園

県民の森だより

2023.

6

Vol.209

発行 岩手県県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



市町村の森 マイヅルソウの群生 2022年6月11日

だんだん緑の色が濃くなってきました。葉が繁って森の中はすこし暗くなりましたが、陽の光が差し込んだ場所は明るくて、光と影を楽しみながら散策路を歩きます。林床は緑の絨毯、入れ替わり様々な花が咲き誇ります。爽やかな季節、森の散歩に出かけませんか？

岩手県県民の森 管理事務所

※イベント等の最新情報はHP等でご確認ください。
※県民の森園内での植物採取は森林法により禁じられています。

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストアイ

TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778

開館時間：9時～16時 火曜休館（祝日の場合翌日振替）

@forest_iwate



木材工芸センター「木工教室」 ご予約・問い合わせ 木材工芸センター ☎0195-78-4115

テーブル 2023年7月15日(土) 9:00～15:30

参加費：20,000円（着色料：別途1,000円）

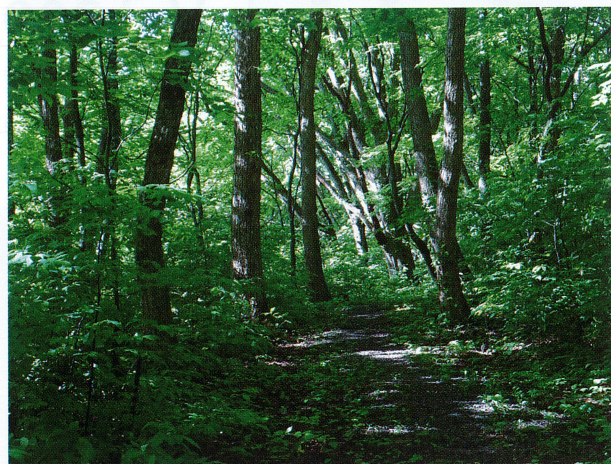
定員：5名

持ち物：昼食・ゴム手袋

6月の県民の森。深い緑と花と実が楽しめる季節。

森の中を歩くと、エゾハルゼミのヒグラシに似た美しい鳴き声が聞こえてきます。次々と咲き誇る花々、気が付くと、若い実も出来始めています。散策の楽しみは尽きません。

この度、季節毎に園内の見どころを掲載した「園内コースマップ」を新たに製作いたしました。ただいま「夏版」を学習館にて配布いたしております。散策のお供にどうぞご利用ください。



【園内散策路 A コース】2022年6月7日
美しい緑の中を歩きます。

【ヤマボウシ】2022年6月25日
白い花に見えるのは総苞片。園内随所で見られます。

変わり種のツツジたち

ツツジの花が見頃です。そして、一般的なツツジの形ではない花もひっそりと咲いています。



【ナツハゼ】ブルーベリーの仲間です。



【ガクウラジロヨウラク】ピンクの壺型の花。



【ウメガサソウ】高さ 5-10 cm の小さなツツジ。

希樹園の白い花々

県民の森北東の端に位置する「希樹園」では、この時期に様々な白い花々が咲き誇ります。



【ハクウンボク】エゴノキ科
優雅な白い花は空にたなびく白雲のよう。



【バイカウツギ】アジサイ科
梅に似た雰囲気の花は爽やかな花です。



【サラサウツギ】アジサイ科
ウツギの重弁の品種。外側がピンク色です。

出会いがいっぱい

様々な木の実が出来始めています。若い実は色が鮮やかで美しいです。



【アオダモの若い実】モクセイ科
翼果。茶色く乾燥すると風で飛んでいきます。



【ヤマグワの実】クワ科
赤〜黒色に熟した実は甘くて美味しいです。



【ムツヒダリマキマイマイ】
東北だけに棲む左巻きのカタツムリです。

樹木にも雄と雌があります。

人間と同じように樹木にも雄と雌があります。ひとつの花に雄しべと雌しべがある花は「両性花」、雄しべだけを持つ雄花、雌しべだけを持つ雌花は「単性花」と呼んでいます。また、株毎に雄花のみ咲かせる雄株と、雌花のみ咲かせる雌株が分かれている木（雌雄異株）、同じ株で雄花・雌花をつける木（雌雄同株）があり、生き方は様々でおもしろいです。

【キタゴヨウマツ】マツ科 雌雄同株

針のような葉っぱが5枚セットで束になって生えるので「五葉松」。黄色い雄花は本年枝の下部につき花粉を風で飛ばし、枝先に赤い雌花が付きまします。雌花は受粉すると、2年目に熟して大きな松ぼっくりに。（市町村の森など）



キタゴヨウマツ雌花 2022年6月9日



キタゴヨウマツ雄花 2022年6月9日

【キハダ】ミカン科 雌雄異株

幹の下にある皮が黄色いことが名の由来。胃腸薬としても有名。材は、木目が美しく家具等に利用されています。雄花は黄緑色、雌花は黒い雌しべが目立ち、初夏に小さなミカンのような果実が出来ます。（みずばしょう園など）



キハダ雌花 2022年6月18日

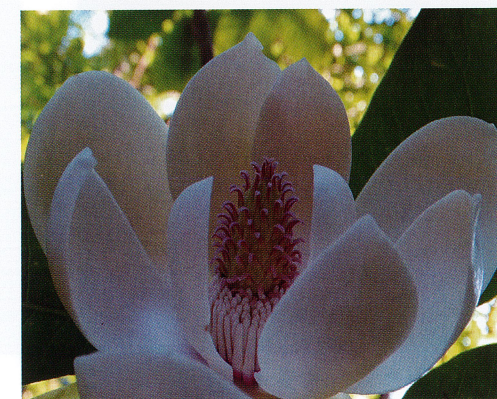


キハダ雄花 2022年6月18日

【ホオノキ】モクレン科

両性花（雌性先熟）

日本一大きな花と葉の木。人の頭ほどある大きさの花は、開花した最初の日、雌しべのみが開いて「雌」の状態になります。その日の夜に一旦花びらが閉じて、次に開いた時は雌しべは閉じ受粉できない状態になっていて、今度は雄しべが開いている「雄」の状態に変化します。ひとつの花で雌から雄へ変わることで自家受粉を防いでるのです。



ホオノキ 雌性期 2022年6月7日
開いたばかりの花。真ん中の赤い雌しべが開いてイソギンチャクのように見えます。下にある白い雄しべは閉じています。



ホオノキ 雄性期 2022年6月9日
真ん中の雌しべはピッタリと閉じてしまいました。こんどは下の白い雄しべが開いて花粉をだしています。

県民の森 新緑の自然イベント ご予約・問い合わせ 森林ふれあい学習館 ☎0195-78-2092

大地獄谷登山

2023年6月17日(土)

8:00 ~ 15:00

定員: 15名 参加費: 3,000円

七滝登山道コースから大地獄谷までの登山です。新緑と登山道の花々を楽しみながら歩きます。（登山経験者対象。行動時間6時間、高度差800m程度の団体登山が出来る方）※7/1は満席・追加日程となります。

【県民の森プライベートガイド】※キャンセルの場合はキャンセル料が発生します。

イベント以外の日、1週間前までの予約制。人数が揃えばお得です。団体様もご相談ください。

【七滝ハイキング】四季折々の美しい自然を楽しみながら、落差30mの迫力ある名瀑を目指します。

約4時間 7,000円（こちらの料金で最大5名様までご案内）

【県民の森散策】岩山山麓の豊かな自然、県民の森ガイドがその日のとっておきの場所をご案内します。

約90分 5,000円（こちらの料金で最大5名様までご案内）



2022年6月14日 七滝